

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立応其小学校	森 和子
学校所在地		
〒 6 4 9 - 7 2 0 3 橋本市高野口町名古屋 1 9 - 1 Tel 0 7 3 6 (4 2) 2 0 6 7 fax 0 7 3 6 (4 4) 2 1 3 2		
担当者名		役職名・担当教科
吉田 凌		教諭
<p>〔学校の概要〕</p> <p>教育目標を「ともに学ぶ教育をチーム応其で」と決め、教員、児童がともに学ぶこと、学び続けることを大切に実践してきました。研究主題については、これまでの実践を継続し、「わかる喜びを味わい、ともに学ぶ児童の育成を目指して～自分の考えを表現する授業づくり～」を研究テーマとし、コロナ禍のなかできることを粘り強く取り組んできました。</p> <p>本校のもつ学力向上と基本的な生活習慣の確立という大きな2つの課題に対し、授業研究を中心とした授業研究部会での取り組みとともに、児童支援部会における家庭での児童の生活改善、縦割り活動等の児童会活動の充実を図っています。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 4 7 名	4 名 職員 9 名	学校
実践研究テーマ		
応其ふるさと学		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	応其の町を考えよう	
〔キーワード〕 応其・高野口地区で盛んな産業 パイル織物（過去・現在・未来） ESD		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成事業に参加し、過去の遺産を未来に伝えていくことの良さや大切さを学習する。 ・未来に歴史的価値のある遺産を伝えていくことに自分たちに出来ることは無いかと考える態度を育む。 ・自分たちが住む和歌山県の歴史を知り、地元を愛する気持ちを育む。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 3 5 時間 （「世界遺産高野山へ行こう」 6 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>毎年、ゲストティーチャーとして、元教員で地元の歴史に詳しい方をお招きして、児童たちにわかりやすく写真や図を用いて、高野山や高野口の事について説明いただいている（コロナ禍前）。</p> <p>また、市の学芸員の方からも、地元の歴史でわからないことについて教えてもらったり、資料をいただいたりしている。</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 応其について調べよう。	・応其の歴史や文化、産業、偉人など今まで学習して持っている情報とインターネットや本を使って集めた情報から、自分の興味関心があるテーマを見つけ自己決定する。	情報活用能力 ワークシート 課題発見力 ワークシート
2	2. 我々にとって身近な高野山について学び、世界遺産学習にむけ事前学習を行う。	・高野山に行く前に、事前学習を行うことで、興味をもって現地学習に向かわせる。	課題追求力
3	3. 世界遺産である地元の高野山にいき、高野山の歴史や文化に触れ、体験したり、話をきいたりすることで、高野山の素晴らしさを感じ理解を深める。	・高野山を訪ね、世界遺産について学習するとともに、霊宝館を見学したり、壇上伽藍を歩いたりし、高野山の歴史に触れる。	課題追求力 観察 ワークシート メモ
4	4. 現地学習で体験したことや実際に見たものの、きいた話をもとにふり返りを行う。	・頂いた資料や、実際に高野山に行き、発見したことや感じたことを中心に学習のまとめをする。	情報活用能力 ワークシート 自己表現力 ワークシート
5	5. 地元応其と高野山の関係について学んだことを他教科の学習に活かす。 6. 単元のふり返りをする。	・学んだことを基に、社会科の学習に意欲的に取り組み、主体的な学びへとつなげる。	自己表現力 ワークシート
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>子どもたちは、高野山について和歌山の世界遺産であるという漠然とした知識にとどまっていた。しかし今回の学習を通して「紀伊山地の霊場と参詣道」のことを詳しく知り、地元を誇りに思う気持ちを育むことができた。また、世界に誇るべき高野山を自分たちの手で保全するという経験をし「自分たちの手で和歌山の世界遺産を守る」という意識が芽生えた。</p> <p>課題</p> <p>今回の学習で学んだことや、経験したことを発信する場がなかったことが課題としてあげられる。しかし、子どもたちにとって、今回の経験が地元を愛する気持ちや、自分たちの手で守ってこうという気持ちの育成につながったことはとても大きな一歩であると考えます。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>実際に世界遺産である高野山を訪れ、世界遺産についての話を聞いたり、高野山内を歩いたりすることにより、高野山についての理解を深めることができ、また世界遺産を身近に感じる事ができた。また高野山の学習だけでなく、地元高野口町との関わりも学ぶことで、町がどのように栄えてきたのか、高野山へ通ずる街道がどのような役割を果たしていたのかがよく理解</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>より高野口と高野山、仏教との繋がりを意識させる経験や体験を実施していきたい。高野口の近くにある、丹生官省府神社や町石道の歴史や現在の様子について学習することで、地元を愛する気持ちや未来に遺産を伝える担い手として一人でも多くの児童に自覚を持たせる学習に繋げていきたい。</p>			

様式 2

令和 4 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

